

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-259496

(43)Date of publication f application : 24.09.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

G06F 12/00

G06F 12/00

G06F 13/00

(21)Application number : 10-058054

(71)Applicant : HITACHI SOFTWARE ENG CO LTD

(22)Date of filing : 10.03.1998

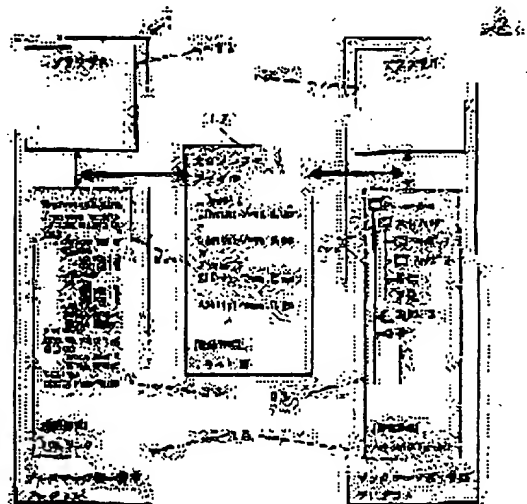
(72)Inventor : FURUYA MASAHIRO

(54) INTEGRATED MANAGING METHOD OF BOOKMARKS BETWEEN PLURAL BROWSERS

(57)Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To share and use stored data individually stored by plural browsers.

SOLUTION: In an integrated managing method of bookmarks between plural browsers in an internet and intranet system, a shared bookmark file 17 to store an URL(uniform resource locator) to be shared and used by plural browsers 1, 2 is set, the URL to be shared and used by plural browsers is stored in the shared bookmark file 17 in a specified form and when the URL stored in the shared bookmark file 17 is used by each browser, the URL is used by being converted into the form corresponding to each browser.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Our Ref.: OP1201-US

Prior Art Reference:

Japanese Patent Laid-Open Publication No.11-259496

Date of Laid-Open: September 24, 1999

Title: INTEGRATED ANAGEMENT METHOD OF BOOKMARKS BETWEEN
PLURAL BROWSERS

Patent Application No.10-58054

Filing Date: March 10, 1998

Claimed Priority: None

Applicant: Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

Inventors: Masahiro FURUYA

(Partial Translation)

[ABSTRACT]

[OBJECT]

To share and use stored data individually stored by plural browsers.

[SOLVING MEANS]

In an integrated managing method of bookmarks between plural browsers in an internet and intranet system, a shared bookmark file 17 to store an URL to be shared and used by plural browsers 1,2 is set, the URL to be shared and used by plural browsers is stored in the shared bookmark file 17 in a specified form and in using the URL stored in the shared bookmark file 17, the URL is used by being converted into the form corresponding to each browser.

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 1 1 - 2 5 9 4 9 6

(43) 公開日 平成11年(1999)9月24日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	F I
G 0 6 F	17/30	G 0 6 F 15/403 3 8 0 C
	12/00	5 1 1 C
	5 4 6	5 4 6 A
	13/00	3 5 4 D
		15/40 3 1 0 F
審査請求	未請求	請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-58054

(22) 出願日 平成10年(1998)3月10日

(71) 出願人 000233055

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

(72) 発明者 古屋 雅浩

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社内

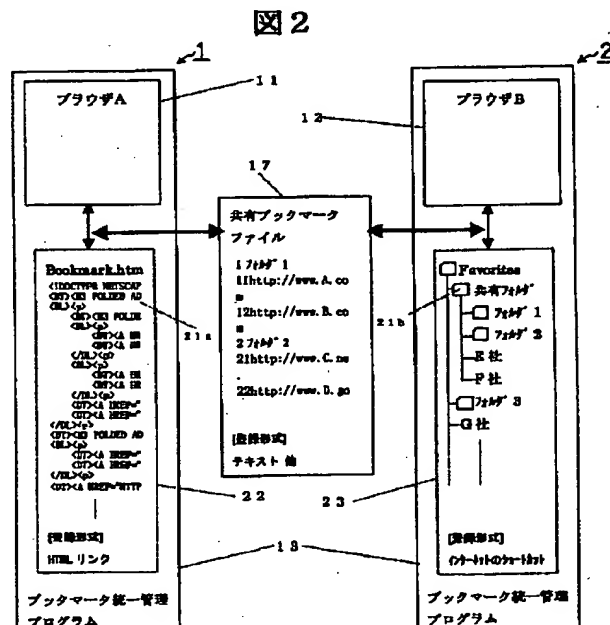
(74) 代理人 弁理士 秋田 収喜

(54) 【発明の名称】 複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法

(57) 【要約】

【課題】 複数のブラウザが個々に格納した格納データを共有利用すること。

【解決手段】 インターネット・イントラネットシステムにおける複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法であって、前記複数のブラウザで共有利用するURLを格納する共有ブックマークファイルを設定し、前記複数のブラウザで共有利用するURLを所定形式で前記共有ブックマークファイルに格納し、前記共有ブックマークファイルに格納されたURLを各ブラウザが利用する場合は、そのURLを各ブラウザに対応した形式に変換して利用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット・イントラネットシステムにおける複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法であって、

前記複数のブラウザで共有利用するURLを格納する共有ブックマークファイルを設定し、前記複数のブラウザで共有利用するURLを所定形式で前記共有ブックマークファイルに格納し、前記共有ブックマークファイルに格納されたURLを各ブラウザが利用する場合は、そのURLを各ブラウザに対応した形式に変換して利用することを特徴とする複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、複数の異なる形式のブラウザ間のブックマーク統一管理方法に関し、特に、インターネット・イントラネットシステムを開発・利用・運用管理する際に個々のユーザによって用いられる複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法に適用して有効な技術に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 通常、インターネット・イントラネットシステムを利用するにあたり、クライアントツールであるブラウザはユーザが自由に選択できる。現在使われているブラウザとしては、例えば、Netscape社のNetscape Navigator (Communicator) (以下、Netscapeと略す)とMicrosoft社のInternet Explorer (以下、IEと略す)が挙げられる。

【0003】 それぞれのブラウザにおいて、頻繁に使用するホームページについては、URL (Uniform Resource Locator) を「ブックマーク」(Netscape)や「お気に入り」(IE)として登録することにより、以後容易に呼び出してアクセスが可能となる。また、IEにはブックマークのインポート機能があり、インストール時にはNetscapeのブックマークを取り込むこともできる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上述したブラウザではURLのデータの格納形式が各々に違うため、それぞれ独立したデータとして保持されており、相互間のデータのリンク付けが行えてないので、共有利用ができないという問題点があった。

【0005】 このため、インストール時に他のブラウザの「ブックマーク」の格納データを取り込むことができるが、ブラウザの複数使用を続けている場合、例えばあるホームページをNetscapeの「ブックマーク」に追加したり、ホームページのURL変更にともないNetscapeの「ブックマーク」を編集した場合には、IEの「お気に入り」には反映されないため、IEで見たい時には直接URLを指定しなければならないのが現状である。

【0006】 また、登録されたブックマークが多くなっ

てきた時にはブックマークをディレクトリ形式に整理することが行われるが、両方のブラウザでリンク付けして行わないと、格納データの共有ができなく、使い勝手が統一されなくなってしまう。

【0007】 特に、インターネット・イントラネットシステム開発者などは、複数のブラウザや、仕様の違う複数のパソコンによる動作確認を行うことが多いため、ブックマークの管理作業が頻繁に発生すると開発(テスト)の効率が悪くなってしまう。

10 【0008】 本発明は上記問題点を解決する為に成されたものであり、その目的は複数のブラウザが個々に格納した格納データを共有利用することが可能な技術を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】 本願において開示される発明のうち、代表的なものの概要を簡単に説明すれば、下記のとおりである。

【0010】 インターネット・イントラネットシステムにおける複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法であって、前記複数のブラウザで共有利用するURLを格納する共有ブックマークファイルを設定し、前記複数のブラウザで共有利用するURLを所定形式で前記共有ブックマークファイルに格納し、前記共有ブックマークファイルに格納されたURLを各ブラウザが利用する場合は、そのURLを各ブラウザに対応した形式に変換して利用することにより、複数のブラウザのURL格納形式が異なる場合でも、共通格納形式に変換してURLを保持しておくことで、複数のブラウザが個々に格納した格納データを共有利用することが可能となる。

30 【0011】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の複数のブラウザ間のブックマーク統一管理方法を図面を用いて説明する。

【0012】 図1は、本発明の一実施形態であるWWWブラウザ間のブックマーク統一管理方法を実施するインターネット・イントラネットシステムの構成を示した例である。図1に示すように、本実施形態のインターネット・イントラネットシステムは、複数のユーザ端末1、2と、各ユーザ端末と接続するLAN回線14と、インターネット15と、それらLAN回線14とインターネット15の接続を行うためのルータ16とから構成される。

【0013】 ユーザ端末1にはブラウザA11、ブラウザB12の複数のブラウザと、各ブラウザのブックマークの統一管理を行うブックマーク統一管理プログラム13とが格納され、ユーザ端末2ではブラウザA11とブックマーク統一管理プログラム13とが格納されている。また、ユーザ端末1には共有ブックマークファイル17をハードディスク上に設定し、ブラウザA11とブラウザB12の共有ファイルとしている。

50 【0014】 そして、各ユーザ端末1、2にセットアッ

ブされているブラウザA11あるいはブラウザB12から、LAN回線14およびルータ16を経由しインターネット15上のホームページにアクセスする接続形態となっている。

【0015】ユーザは複数のブラウザで頻繁に使いそうなホームページが見つかった時には、各ブラウザA11、B12の操作方法によってそのURLをブックマークに登録する操作を行うが、その情報はブラウザ起動時にPlug-Inとして読み込まれるブックマーク統一管理プログラム13により、共有ブックマークファイル17に登録される。そのブックマークファイル17に登録された情報は、ブラウザA11、B12からは勿論、ユーザ端末1、2のどちらからも参照・更新ができ、統一されたブックマーク管理が可能となる。

【0016】次に、上述したブックマーク統一管理プログラム13と共有ブックマークファイル17とについて図2を用いて説明する。なお、本実施形態では、上述した二つのブラウザA11、B12を用いたものを取り挙げ、それぞれブラウザA11のURL登録ファイルであるブックマークファイルは、HTMLリンク形式で示したBookmark.htmファイルを用い、ブラウザB12ではインターネットのショートカット形式で示したFavoritesファイルを用いるとして説明する。

【0017】ブックマーク統一管理プログラム13は、図2に示すように、ブラウザを起動している間にバックグラウンドで起動され、ブラウザの独自のURL登録ファイル22、23内における、共有利用ブックマーク登録部21a、21bにURLが登録されるという指示を受けると、ブラウザ独自のブックマークへの登録されたアクセスデータを、テキスト形式など（このデータ形式は、テキスト形式に限らず、システム設計時に最適な形式に決定する）へのデータ変換を行い、共有ブックマークファイル17として登録する。

【0018】その共有ブックマークファイル17は、図2に示すように、フォルダ別にテキスト形式でURLが格納される構成をとる。

【0019】各ブラウザA11、B12が共有利用ブックマーク登録部21a、21bにアクセスする場合には、ブックマーク統一管理プログラム13によりブラウザは独自のURL登録ファイル22、23にはアクセスされず、共有ブックマークファイル17へアクセスすることとなる。

【0020】共有ブックマークファイル17からURLを取得するときには、ブックマーク統一管理プログラム13により、各ブラウザA11、B12の登録形式に変換し、各ブラウザA11、B12に表示する。例えば、ブラウザA11の場合は、テキスト形式からHTMLリンク形式に変換される。この変換は、例えば図3に示すように、ブラウザ種別31と登録形式32とから構成される変換テーブル30を設け、それを用いて行う。

【0021】次に、上述したブックマーク統一管理プログラム13の処理について図4を用いて説明する。

【0022】ブックマーク統一管理プログラム13は、図4に示すように、まず、ユーザが使用しているブラウザ種別を取得する（ステップ401）。

【0023】ブラウザA11、またはB12から共有利用ブックマーク登録部21a、または21bにURL登録指示がなされた場合（ステップ402）、取得したブラウザ種別と図3に示す変換テーブル30を基に登録するURLをテキスト形式に変換し（ステップ403）、共有ブックマークファイル17に格納する（ステップ404）。例えば、ブラウザA11が使用されている場合はHTMLリンク形式からテキスト形式に、ブラウザB12の場合はインターネットショートカット形式からテキスト形式にデータ変換して、共有ブックマークファイル17に格納する。

【0024】共有利用ブックマーク登録部21a、または21bの表示指示がなされた場合（ステップ405）、共有ブックマークファイル17の登録URLの一覧を表示し（ステップ406）、ユーザが指定したURLを取得したブラウザ種別と図3に示す変換テーブル30を基に、使用ブラウザに対応した形式に変換し（ステップ407）、ブラウザ上にそのURLに対する情報を表示する（ステップ408）。

【0025】そして、情報表示されたURLに対し、ユーザが情報更新を行った場合（ステップ409）、登録時と同様に取得したブラウザ種別と図3に示す変換テーブル30を基に更新するURLをテキスト形式に変換し（ステップ410）、共有ブックマークファイル17に格納する（ステップ411）。

【0026】したがって、2つのブラウザA11、B12で共有利用するURLを格納する共有ブックマークファイル17を設定し、それらブラウザA11、B12で共有利用するURLをテキスト形式で共有ブックマークファイル17に格納し、共有ブックマークファイル17に格納されたURLを各ブラウザA11、B12が利用する場合は、そのURLを各ブラウザA11、B12にそれぞれ対応した形式に変換して利用することにより、ブラウザA11、B12のURL格納形式が異なる場合でも、共通格納形式であるテキスト形式に変換してURLを格納しておくことで、各ブラウザA11、B12が個々に格納した格納データを共有利用することが可能となる。

【0027】なお、上述したブックマーク統一管理プログラム13は、フロッピーディスク、CD-ROM、マスクROM等の記憶媒体で一般ユーザに提供されることがある。

【0028】また、上述した記憶媒体で提供する代替手段として、インターネット等のネットワークを通じて有償で提供することもある。

【0029】以上、本発明者によってなされた発明を、前記実施形態に基づき具体的に説明したが、本発明は、前記実施形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能であることは勿論である。

【0030】

【発明の効果】本願において開示される発明のうち代表的なものによって得られる効果を簡単に説明すれば、次のとおりである。

【0031】複数のブラウザのURL格納形式が異なる場合でも、共通格納形式に変換してURLを格納しておくことで、複数のブラウザが個々に格納した格納データを共有利用することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態であるWWWブラウザ間の

ブックマーク統一管理方法を実施するインターネット・イントラネットシステムの構成を示した例である。

【図2】ブックマーク統一管理プログラムと共有ブックマークファイルとを説明するための図である。

【図3】変換テーブルの構成例を示した図である。

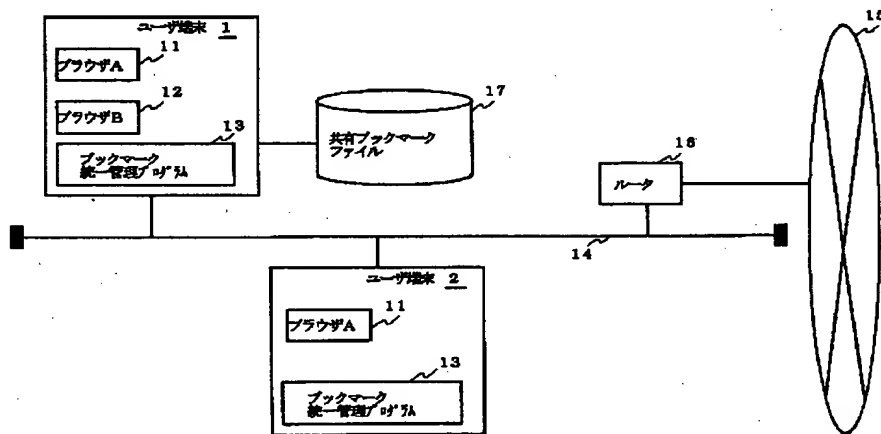
【図4】ブックマーク統一管理プログラムの処理を説明するためのファイルである。

【符号の説明】

1, 2…ユーザ端末、11…ブラウザA、12…ブラウザB、13…ブックマーク統一管理プログラム、14…LAN回線、15…インターネット、16ルータ、17…共有ブックマークファイル、21a, 21b…共有利用ブックマーク登録部、22, 23…URL登録ファイル。

【図1】

図1



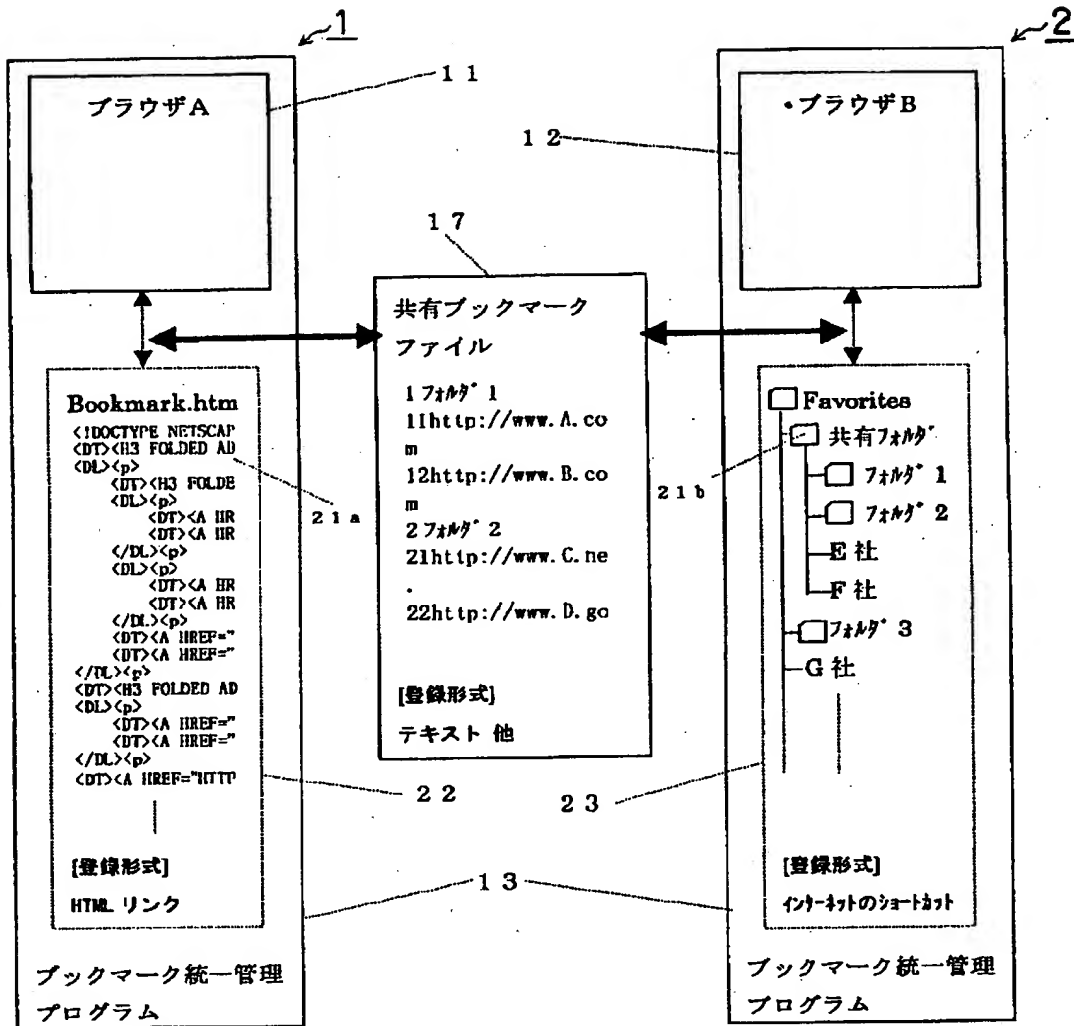
【図3】

図3

31 ブラウザ種別	32 登録形式	30
ブラウザA	HTML形式	
ブラウザB	ショートカット形式	
⋮	⋮	

【図2】

図 2



【図4】

図4

